

地質ニュース

昭和43年10月

第170号

1968

工業技術院創立20周年記念特集

- 工業技術院創立20周年に際して.....朝永良夫
海洋資源開発研究の推進について.....工業技術院計画課
地質調査所における海の調査研究活動の発展.....坊城俊厚..1
海底の金属鉱物資源 海底に存在する鉄マンガン金属塊.....丸山修司..8
注目される大串海底珪石鉱床の開発.....山田正春..15
井上秀雄
第5回アジア沿海鉱物資源共同探査調整委員会.....嶋崎吉彦..24
わが国の海底炭田.....徳永重元..28
海洋油田の開発.....牧野登喜男
伊藤武..35
石和田増章
大陸棚ショートボーリング法.....河内英幸
野口勝..46
後藤進夫
中川忠夫
海洋開発と物理探査.....瀬谷清..52
海底沈殿物研究の歩み ソ連の場合.....岸本文男 訳..57
学会掲示板.....45
地学と切手.....堀内恵彦..45

資料

編集 地質調査所

表紙の写真

固定プラットフォーム型の頸城第2人工島である。 距岸1,200 m 水深15mで 昭和38年9月に 1号井が開坑されて以来 16坑が掘さくされ 今日まで累計1億5000万m³の天然ガスを産出した。 これは直江津東方の大潟町沖合にあるが その後 さらに同型の第3人工島 および若干改良を加えた第4人工島が西方海域に建設され稼働している。

(解説 石和田増章 写真 帝国石油(株))

発行 株式会社 実業公報社